

# 国立大学法人 名古屋大学 減災館



所在地：愛知県名古屋市千種区不老町  
 建築面積：713.10㎡  
 延床面積：2,897.83㎡  
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、免震構造、地上5階  
 設計：名古屋大学 施設管理部  
 名古屋大学 施設・環境計画推進室・奥宮研究室（コミッションングチーム）  
 (株)日建設計  
 監理：名古屋大学 施設管理部  
 施工：建築 / 清水建設(株)  
 電気 / 北陸電気工事(株)  
 完成：平成26年2月

S262

災害に対する事前の対応をしっかりと、起こり得る被害をできるだけ軽減するために地震や防災の研究者が結集した「減災」の最先端技術の場。館内の照明はLED照明器具を全館に採用し、各所で適切に器具を使い分けることによって、照明効果を演出しながら省エネを実現。

## 「減災館」はセミナー・ワークショップ、体感・体験による市民に開かれた学びの場

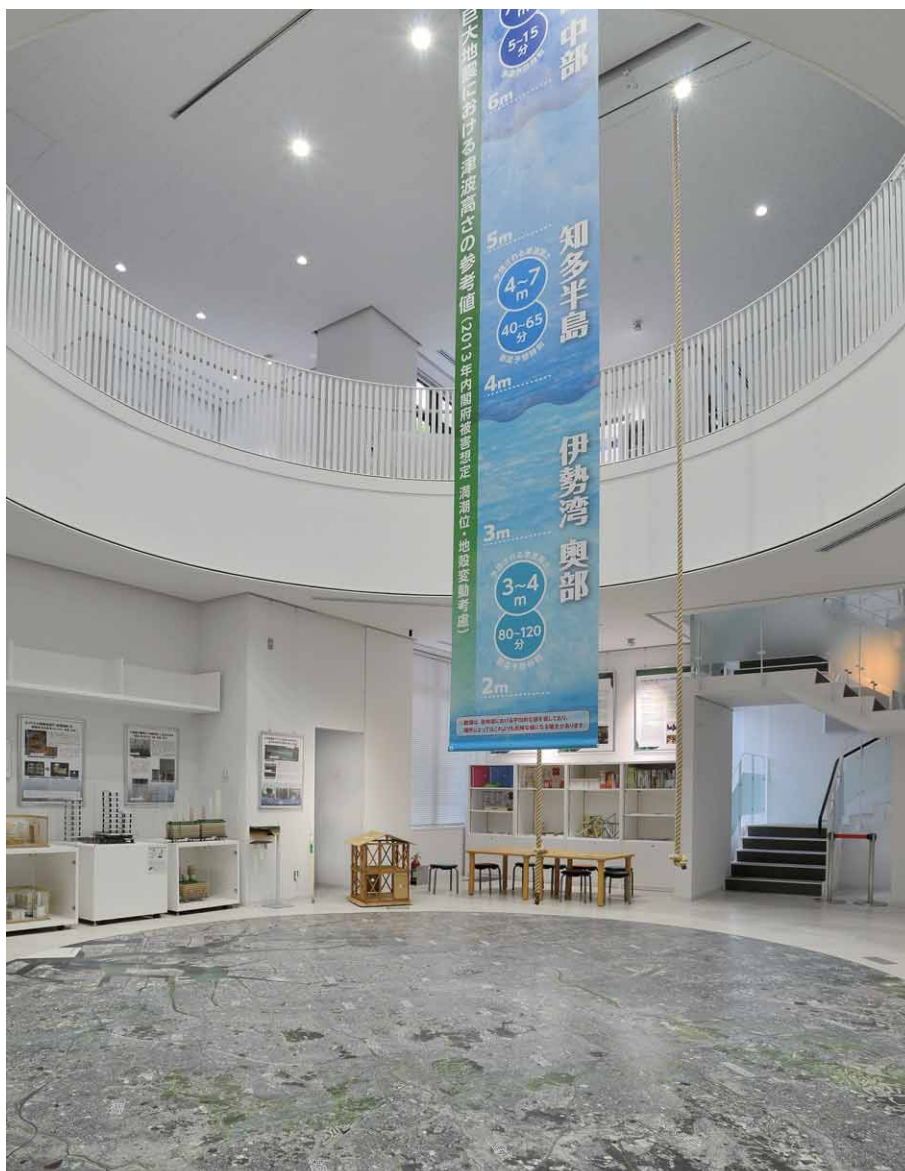
減災社会の実現を図るための研究施設で減災の最先端技術を結集した「減災館」は、地震や防災の最先端技術による開発と実験の場となっています。研究と教育、各種セミナー・ワークショップ、体感・体験などによる市民にも開かれた学びの場として提供しており、様々な展示を通して市民とともに日頃の備えを学び、実践していくことを目的としています。そして大規模災害発生時には、大学や地域の災害対応の一大拠点場としての機能が発揮されます。

減災館の1階は体感・実験の減災ギャラリーと減災ホール、2階は調べ学習の減災ライブラリーと災害対策室、3、4階はプロジェクト室と教員室、5階は大振幅長期周期の揺れを再現する実験施設などで構成しています。

## LED照明の特性を生かした使い分けで、快適性と省エネ性・省CO<sub>2</sub>を両立

1階の減災ギャラリーおよび2階の減災ライブラリーの基本照明は、雰囲気重視し、自由に光源を交換できるLEDライトエンジンダウンライトグレアレスタイプを採用。シンプルに配灯して、明るく広がり感をもたせています。壁面に沿って配置されている展示物には、照射光を自在にでき、高演色（Ra85）で、かつ照射による展示物の劣化を抑えるLEDダウンスポットを多用し、自然な色合いを表現しつつ、様々な用途に対応できるようにエリア別に調光を可能にするLEDコントロールクスを配置しています。

1階の中央部は円型状の2階まで吹き抜け空間とし、名古屋の都市と周辺市町村を空から見たリアルな写真を床面に展示。その写真に対して、2階吹き抜け天井面に70Wコンパクトメタルハライドランプ器具相当の明るさを消費電力65Wで実現する一体形LEDダウンライト6000シリーズにより直下光でライティング。均一な明かりで眩しさも抑制され、展示写真を見やすくしています。講演会などを実施している1階の減災ホールや2階の災害対策室には、一体形LEDベースライト埋込形ストリートタイプを採用しています。



1階の減災ギャラリーの照明 LEDライトエンジンダウンライトグレアレスタイプを採用し、雰囲気重視してシンプルに配灯



1階振動再現装置周辺コーナーのLED照明



壁面コーナーのLEDダウンスポットによる照明



2階の調べ学習の減災ライブラリーフロアのLED照明



2階吹き抜けから1階床面の空撮写真を望む



1階減災ホールの一体形LEDベースライト埋込ストリートタイプによる照明



1階減災ホールの壁面展示コーナーのLED照明



2階減災ライブラリーのLEDライトエンジンダウンライトによる照明

主な納入器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
館内	LEDグレアレスダウンライト	LEDD-16301-LD9	109	消費電力:18.9W
	一体形LEDダウンライト	LEDD-60003MW-LD9	12	消費電力:67W
	一体形LED埋込形ベースライト	LEDR-71042N-LDJ	133	平均消費電力:54W
	LED薄形ベースライト	LEDT-67142N-LDJ	56	平均消費電力:53W
	LEDダウンスポットライト	LEDD-70101W-25	39	消費電力:24W
	LED黒板灯	LER-41091-LS9	12	消費電力:26.5W
	LEDパ形ベースライト	LEDT-43701NK-LD9	10	消費電力:51.8W